

有限会社山本精機

鳥取県岩美郡岩美町

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

精密部品加工における高い技術力で取引を拡大。新事業として医療福祉分野へ進出

分析機器等の精密機械部品を製造。主に、棒材と称される金属を切削加工し、更に、細管溶接や組立まで社内で行い競合と大きく差別化を図った。短納期、多品種小ロット生産を得意にしており、試作品の受注も多い。創業当時はステンレス加工を専門にしていたが、徐々に取扱う素材を広げている。難切削材の精密部品加工で顧客から評価され、半導体製図装置部品も手掛けるようになった。現在、同社の技術力を活かせる医療福祉機器分野への事業展開に積極的に取り組んでいる。

● 所在地 鳥取県岩美郡岩美町浦富610-7
● 電話/FAX 0857-72-1725/0857-73-1883
● URL <http://yamamoto-seiki1974.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 山本 康夫

● 設立 1983年
● 資本金 900万円
● 従業員数 45人



生産性向上

「医工連携」を構築し新たな展開として医療福祉分野を開拓

積み上げてきた技術やノウハウが活用でき、新技術確立が期待出来る分野として医療福祉分野を選定、医療機器の品質保証のための国際標準規格(ISO13485)を取得した。医療福祉分野で求められる高い安全性を担保する部品品質が評価され、付加価値の高い受注につながり取引量は順調に増加している。また、鳥取大学発ベンチャーと「医工連携」に取組み、新分野展開となる認知症の代替療法に用いるアロマオイル拡散機・噴霧器を商品化し、さらには自社製品のアロマペンダントの発売につながった。



医療機器製造技術によるアロマペンダント

取引先のハイレベルな要求への対応、生産性向上を実現

現在直面している技術的な課題である「非定型的曲面金属加工」に対して、3Dスキャナー、3DCAD・CAM、5軸加工機を活用することで加工技術を確認した。また、「一層の短納期要求」に対しては、新たな機能(振動切削・複合切削加工)を持つNC自動旋盤を導入しプロセス改善を実現した。深穴加工等で直面する「切りくず」に由来する工具の欠損や部品の傷の発生を50%抑制し、また、複合切削加工の導入では工程数を5から3に削減(段替え改善)し、いずれも大幅な生産性向上となった。



新たに導入したNC自動旋盤で効率化実現

きめ細かな職場環境整備が定着率向上と社内活性化に結実

小規模企業から中小企業に成長する過程で、「顧客満足」と「社員満足」の追求こそが企業発展のカギになると同社は実感し、職場環境整備を実施した。「せっかく育成した社員が退職することは大きな損失につながる」との思いから、切削油は匂わない、床は滑らない、機械装置は十分な間隔を開ける等、安全性や労働環境に配慮した整備を行った。その結果、離職率の大幅な低下が見られ特に女性の退職者は過去5年発生ゼロとなった。また、社員の意欲向上により自発的な技術習得等社内の活性化が図られた。



最新技術情報収集にあたる機械担当者一同

ものづくり